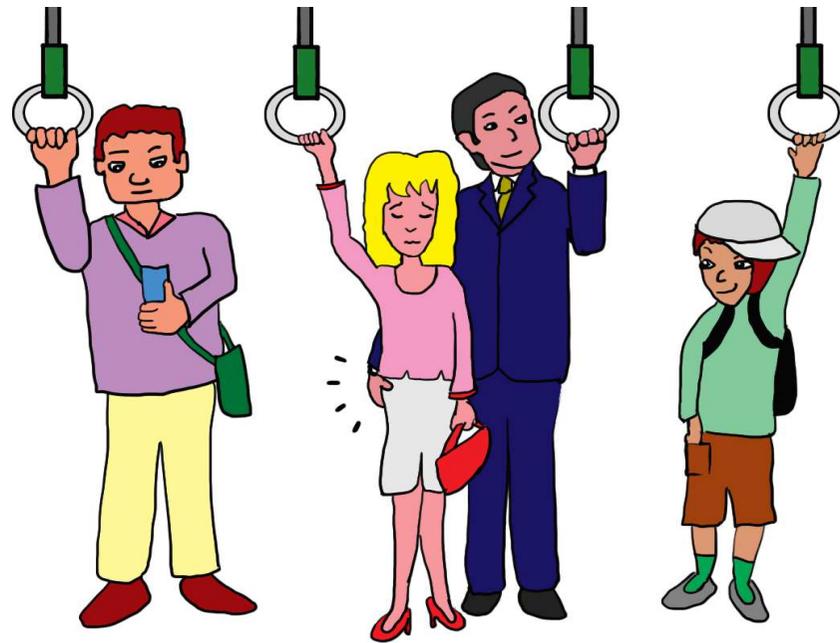


罰は嘘を生む

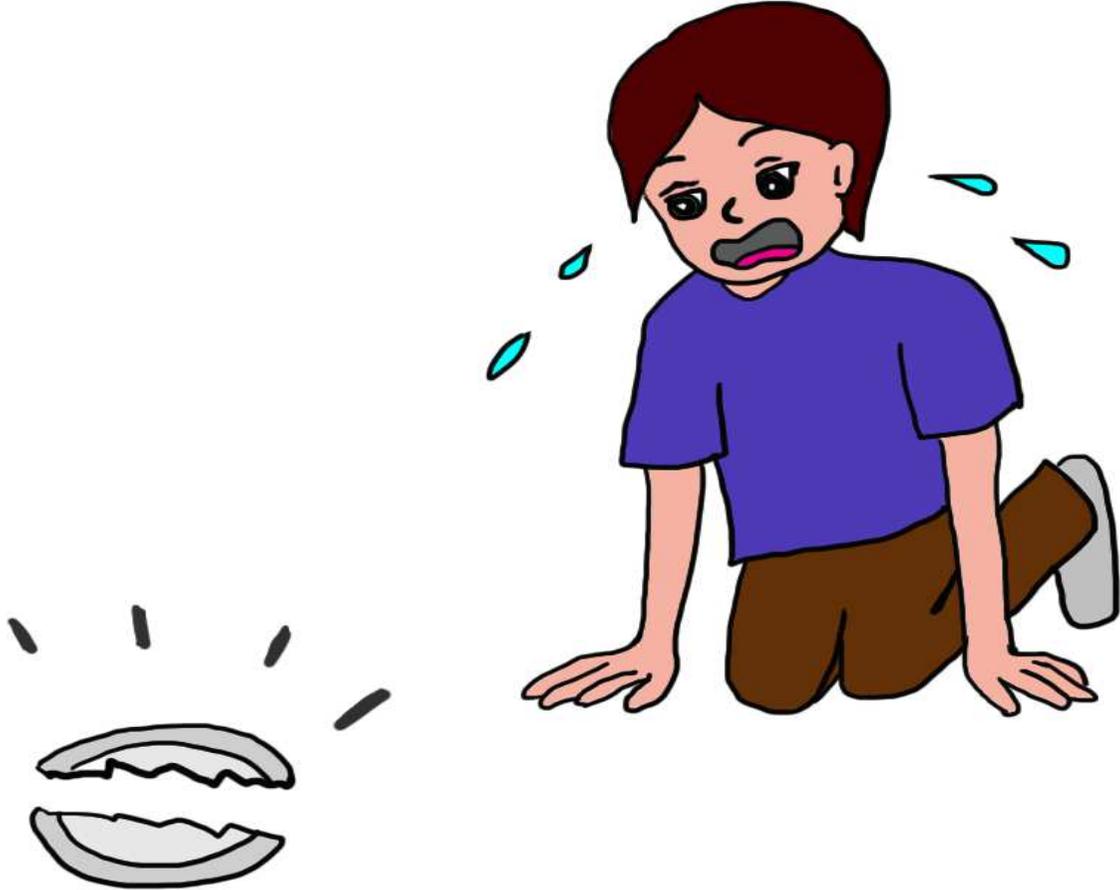


東郷 潤

お母さんと子供がいます。お母さんは子供が何か悪いことをするたびに、厳しく罰を与えます。



ある日、子供が間違えて、お皿を割りました。





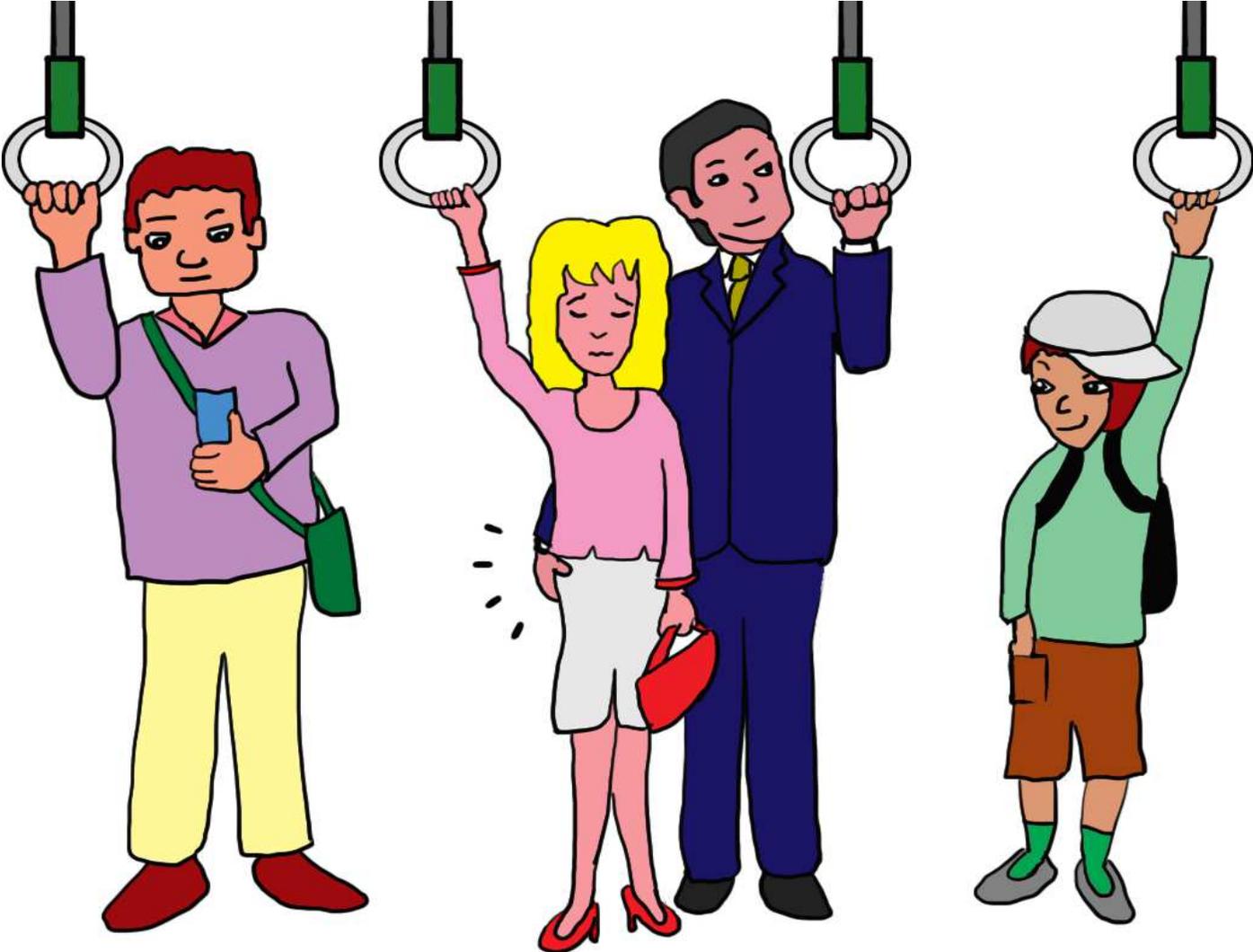
あなたね、
お皿を割ったの？

お皿を割ったのはワザとではありません。でもそれをお母さんは分かってくれるでしょうか？ 子供の心が恐怖で凍り付きました。

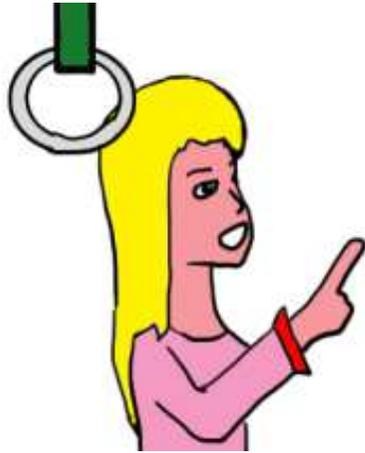
ううん、
ぼくじゃないよ



電車の中で、男の人が女のお尻を触っています。



女性が勇気を出して、言いました。



あなた、痴漢でしょ!?

もし謝ったら許してもらえますでしょうか？ いえきっと警察に突き出されるでしょう。男性の心が恐怖で凍り付きました。

俺じゃないよ。
人違いだよ



泥棒がいます。



金目のもの、
いっぱい盗めたぞ



警官に話しかけられました。



ちょっと待て。君は、泥棒か？

泥棒の心が恐怖で凍り付きました。

い、いえ！ 違います



罰の恐怖は、嘘を生みます。

ねえ、あなた、嘘つきになりたいの？

ふざけるな、
ばかやろう！



あとがき

もし、あなたがこの絵本に共感されたなら、出来るだけ多くの方に、読ませてあげていただければと思います。

本絵本は、自由にコピーして下さって結構です（商業出版はじめ金銭的な授受を伴う場合を除きます）。
また下記WEBからは、東郷潤の他の絵本やメッセージをダウンロードすることができます。

www.j15.org

©Jun Togo 2017